

# CNA Report

News & Analysis Focusing On Audio/Video/Data Collaborative Conferencing Market

Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

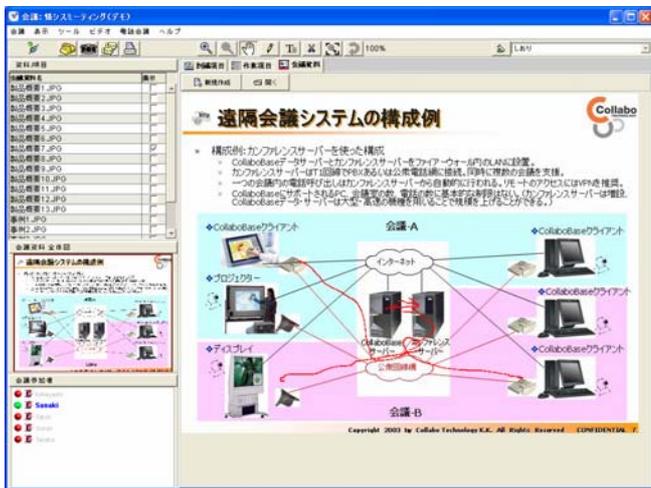
電話会議・テレビ会議・データ会議(Web 会議)専門ニュースレター

Vol 5. No. 8 2003 年 4 月 30 日号 毎月 15 日・月末発行 創刊 1999 年 12 月 8 日

発行人/編集人: 橋本啓介(Keisuke Hashimoto) [kay@rr.ij4u.or.jp](mailto:kay@rr.ij4u.or.jp) Copyright 2003 ケイ・オフィス All rights reserved.

## ニュースダイジェスト

### コラボ・テクノロジー、次世代遠隔会議システム「CollaboBase」を発売



コラボ・テクノロジー(東京都千代田区:2002年4月設立)は、3月より既存の電話網やインターネットを活用した次世代遠隔会議システム「CollaboBase」を販売している。

「CollaboBase」は基本的な遠隔地間での情報共有機能、たとえばワードや、エクセルの共有作業もとより、会議での全ての会話、利用された会議資料、その変更、決定事項等の全ての会議

の特長や、パディリスト、プロジェクトリスト、カレンダー、アクションアイテムリスト、チャットなど実際の会議を実施するにあたって必要なプロセスを包括的なソリューションとして提供する機能を持つ。また、既存のアプリケーションなどとの連携も容易。

システム構成としては、データ共有などを司る CollaboBase サーバーと、電話会議 MCU(多地点接続)として機能するカンファレンスサーバーが相互連携して運用される。データのやり取りはインターネットが利用されるが、音声の会話については、インターネット電話だと音質の劣化や遅延が発生する可能性が高いため、既存の電話回線網を使い高品質な音声通話を実現する。

価格は、ベースライセンスで500万円(30ユーザー付)から。昨年より大手メーカーにパイロット版を導入、今春より1000人規模でこの「CollaboBase」を活用するという。国内販売代理店30社以上との契約も行い、今後大企業を中心に拡販する。

同製品は、創業者である元 IBM 研究員である同社 CEO 藤崎氏の提唱する「情報技術と通信技術を活用した CHI(Computer Human Interaction)の理論に基づく人間同士のコラボレーションモデル」を具現化させた製品だという。

<http://www.collabotech.co.jp>

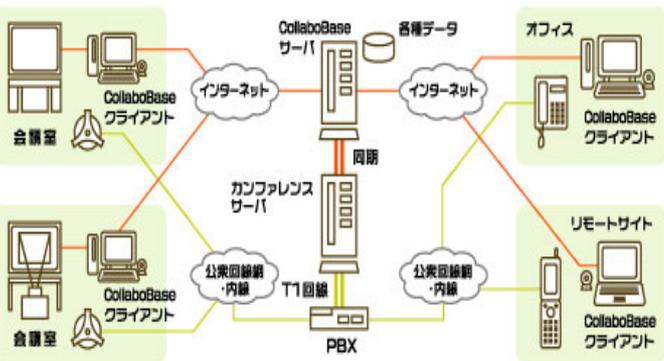
### 米FVC社、Click to Meet バージョン 2.0 をリリース

米FVC社は、ウェブ会議ソリューションである「Click to Meet Express 2.0」をリリースし、バージョンアップをした。新しい機能としては、通常の電話をサポート(ダイヤルアウト・ダイヤルイン)、会議参加者の制御関係の機能向上、パーソナル・ディレクトリー機能、ウィンドウズ・メッセンジャーとの統合、H. 323、SIPやIPフォンなどをサポート、会議中の資料管理機能やポインター、アノテーション機能の向上などが含まれる。

価格は、7,400USD(約88万3千円)から。ポート設定は、4、10、25、50、75、100となっている。

<http://www.fvc.com>

### 米ポリコム社と米パケットピア社、IP 上でのビデオパケット制御ソリューションで提携



上でのプロセスをマルチメディアファイル形式のデータで保存す

米ポリコム社と IP 上での帯域制御ソリューションを提供する米パケットティア社が提携を発表した。両社は、世界市場において共同でマーケティング活動を展開し、IP ネットワーク上のテレビ会議のパフォーマンスを向上させるソリューションをポリコム製品と合わせて提供していく。

ちなみに、両社の日本法人間で戦略的なアライアンスの提携発表が、2001 年 10 月 2 日行われており、ポリコムの代理店のひとつであるプリンストンテクノロジー社に販売を委託というプレスリリースがパケットティア社日本法人のホームページに掲載されているが現在の状況については、CNA リポートとしては未確認。

<http://www.polycom.co.jp>

<http://www.packeteer.co.jp>

### タイ通信公社がラドビジョン社のテレビ会議プラットフォームを導入

タイの通信公社 (CAT) が、ラドビジョン社の vialIP400 のプラットフォームを導入。公社の顧客に対するテレビ会議サービスや CAT 内での社内会議に利用する。導入を手がけたのはラドビジョン社のタイのパートナーである映像通信ソリューションを提供するテレサット社。

<http://www.radvision.com>

### 米ワイヤーワン社、中国のビジョンネクス社と中国市場で提携

IP テレビ会議接続サービスを提供する米ワイヤーワン社は、中国と香港におけるビジネス展開で中国現地企業であるビジョンネクス社と提携した。ビジョンネクス社は中国での IP テレビ会議ソリューションをビジネスとしている会社。今回の提携で、中国のビジョンネクス社と共同でワイヤーワン社が提供する IP テレビ会議接続サービス「グローポイント」を販売していく。まずは、両社の顧客の中で中国と米国両国で事業を展開している企業 30 社をターゲットとしていく。

ビジョンネクス社は、IP ルーティング、IP 接続ソリューション、ローカル営業スタッフ管理、販売戦略、カスタマーサポートなどに対応し、ワイヤーワン社は、通常のネットワークの運用や、カスタマーサポート支援、日本に現在ある POP 経由での中国へのアクセスの準備を行う。

<http://www.VisionNex.com>

<http://www.wireone.com>

### 米 IMRC テクノロジー社、ワイヤレステレビ電話



米 IMRC テクノロジー社は、2.4GHz 帯を使ったワイヤレス・ポータブルテレビ電話 (VDA) を販売している。アンテナは全方位型を使い、スクリーンは、89,856 ドット表示の TFT アクティブマトリクス表示、内蔵カメラ、マイク、そしてキーボードと見た目にはトランシーバーに付いたテレビ電話機能という感じのもの。ピアツーピアで交信をしたり、パソコンをインターフェイスにしてインターネット経由で通信したりということができそう。また、デスクトップモデルもある。

<http://www.imrc.net>



### 「i-cam」、ビデオチャット用の USB CCD カメラ

アスメック (神奈川県横浜市) は、ビデオチャット用の USB CCD カメラ「i-cam」を 2001 年 8 月から販売している。他社製品と比べて画質、性能が優れている点と多くのアプリケーションに対して動作が安定している

そう。同製品は総務省の政府案件の指定カメラに選定されていて、学校インターネット構想のテレビ会議分野で今後採用される見込み。定価は 19,800 円だが店頭実売価格は、8,500 円。今年度は OEM 向けに 2 万台を目標としている。

<http://www.asmec.co.jp>

## 新年度業界各社からのメッセージ

### ■ NECエンジニアリング インターネットターミナル事業部

統括マネージャー 尾中 俊之氏



NEC エンジニアリングは、通信技術、コンピュータ技術、LSI 技術など広範囲な最先端の電子技術と、それらを統合するシステム技術をそなえた、NEC グループの技術開発の中核をなす会社の一つです。NEC では長年、高画質対応の画像 CODEC、音声 CODEC、エコーキャンセラの研究開発を行ってきました。

NEC エンジニアリングではこれらの技術を結集し、従来の価格体系を塗り変える低価格なテレビ会議システム MediaPoint IP (メディアポイント・アイピー) を 2002 年 12 月に発売開始しました。MediaPoint IP はブロードバンドネットワークの普及を追い風にテレビ会議の普及拡大を目指す戦略商品です。

MediaPoint IP は、ISDN 回線はもちろん、企業内 IP ネットワーク、FTTH、ADSL 回線に対応した、カメラ内蔵の小型、軽量、低価格 (278,000 円) で手軽さを訴求した商品であり年間 5,000 台を目標として拡販活動を行っております。

商品の特長としては①最新エコーキャンセラ技術による高品質音声を実現②電動カメラ内蔵で、プリセット機能でスムーズなカメラワークが可能③外部カメラ接続で、より多数の会議利用が可能④必要書類は高画質の静止画送信⑤ハイエンド向け「TC5000EX100」の多地点会議機能と組み合わせれば最大4地点までの多地点会議システムが低価格で構築できます。

発売後、お客様からは IP 接続でのテレビ議システムのご要望が多く、ADSL を使った小規模テレビ会議システムから企業内ネットワークの構築に合わせた大規模な多地点会議システムまで幅広い導入事例が増えています。

この様に、NEC エンジニアリングでは、人と人をつなぐコミュニケーションをより容易な接続環境で実現するとともに、低価格な通信コストで利用できる環境の提供に向けブロードバンドネットワーク対応のオーディオ・ビデオネットワークシステムの開発販売に積極的に取り組んでおります。

#### 【連絡先】

日本電気エンジニアリング株式会社  
 インターネットターミナル事業部 営業部 植山氏  
 TEL.044-435-9683  
<http://www.nec-eng.com/>

### ■ TANDBERG 日本支社

マーケティング・マネジャー 小田長子氏



TANDBERG (タンバーク) Telecom AS は 1978 年にテレビ会議システムの専門メーカーとしてノルウェーで設 (写真左から2番目が小田氏) 立

いたしました。日本には 2001 年 7 月に駐日代表事務所を設立し、2002 年 7 月には日本支社として登記いたしました。今年で 3 年目を迎えますが、まだまだ TANDBERG のことも弊社の製品についても十分お知らせできていないのが現状です。本年度は販売代理店と協力してセミナーを開催したり、展示会に出展したりして会社としての TANDBERG をよりよく知っていただき、また実際に製品に触れたり、使える機会を増やしていきたいと思えます。

ではなぜいま TANDBERG なのか？弊社製品は、まず第一に IP 化という時代に即したテレビ会議システムを提供しているということです。最近では政府の E-Japan 構想に沿って国内の通信インフラが高帯域の IP 網に整備されつつあります。これに応えるためテレビ会議システムの IP 化が加速されています。

TANDBERG は Cisco Systems, Inc. と提携し、技術的にも迅速に対応できるよう研究・開発体制をとっております。TANDBERG は IPLR (TF) など、ブロードバンド時代の安定した IP 通信に最適な技術を提供します。

また、さまざまな分野でセキュリティの重要性が問われていまして昨今、テレビ会議もその例外ではありません。安全な環境でテレビ会議を行っていただけるよう、TANDBERG の製品はすべて暗号化通信機能を標準で内蔵しており、堅牢なセキュリティを提供しています。ISDN、IP、両方混在の場合でも、さらに多地点接続時にも対応しています。通信の遅延や TANDBERG 独自のプレゼンテーション機能を損なうことなく、安心してテレビ会議に集中していただけます。

さらに、TANDBERG はオフィスにおけるトータルソリューションを踏まえたテレビ会議システムのご提案 (TANDBERG Solution) を重視しています。例えば、他社の製品との相互接続性やモニタリング・管理ソフトウェアをはじめとする製品のマルチベンダサポートなどがありますが、お客様は現在すでにお持ちの資産を活かしながら TANDBERG をお使いいただけるという利点があります。

2002 年度 7 月-9 月期からはグローバルの売上シェアでは No.

1 となりましたが、日本ではまだまだこれからです。今後は TANDBERG のことをそして製品のことを知っていただけるような機会をできるだけ多く作っていきたくて思っております。Simplicity・Quality・Value(簡単・きれい・安心)をモットーにしております、TANDBERG の製品を実際にお手にとりご覧いただきたいと思っております。ぜひ弊社オフィスまたは弊社正規販売代理店までお気軽にご連絡下さい。よろしくお願いたします。

#### 【連絡先】

TANDBERG 日本支社

Tel: 03-5623-0396

<http://www.tandbergjapan.com/>

#### ■ トーメンサイバービジネス株式会社

インターネットプロダクツ事業本部長 取締役 鈴木 敦久氏



トーメンサイバービジネスでは4年以上前から、複数拠点を結びビデオ会議を行う、多地点ビデオ会議ソフトウェアを販売しております。

これまでは主に海外製品を日本語化し販売してきましたが、拡大する市場の多様なニーズに応えるべく、IP ネットワーク上の多地点ビデオ会議ソフトウェアを自社にて開発、製品化を行いました。6 月より販売開始予定です。

この製品は、通信プロトコルに ITU-T 準拠である H.323、T.120 を採用しているため、一般的に普及しているビデオ会議端末との接続ができオープンなシステムを構築することができます。

ビデオ会議としては、独自プロトコルを採用した製品がいくつか販売されていますが、当社では、ネットワークの保守の観点からも国際規格である ITU-T 準拠であることが重要であると考え、H.323、T.120 を採用いたしました。

製品ブランド名は「Visual Nexus」(読み方:ビジュアル ネクス)で、上記のオープンスタンダードへの適合の他に、次の様な特長を持っています。

①高品質の映像・音声/会議参加者によるデータ(文書)共有ビジネスユースに十分耐え得る映像・音声・データ共有の品質です。フランステレコム R&D の最新技術 eConf テクノロジーを採用しています。②優れたスケーラビリティ-多地点会議ユニット(MCU)は、マルチプロセッサをサポートし、優れたスケーラビリティを実現しています。③高いカスタマイズ性-画面のカスタマイ

ズや、XML ベースの豊富な API を利用し、特定業務に合わせたアプリケーションの構築等が可能です。

ターゲット市場は企業、特に製造、流通、サービス業です。また、当社が既に強みを持っている文教や自治体市場も対象となります。なお、今年度は販売開始後(6 月を予定)2 億 4 千万円、来年度は 5 億円を売上目標としています。

#### 【連絡先】

トーメンサイバービジネス株式会社

インターネットプロダクツ事業本部

TEL.03-5715-0820

<http://www.tomen-g.co.jp>

#### ■ ポリコム株式会社

日本地区担当ディレクター代理 奥田 智巳氏

ポリコム株式会社は 1999 年 6 月に米国ポリコム社の 100%子会社として設立されました。米国ポリコム社は 1990 年にカリフォルニアで設立され、音声会議システムの開発、販売から業務をスタート。その後テレビ会議システム ViewStation を 1996 年に発売し、急速に成長しました。2000 年にはアコードネットワークス社、2001 年にはピクチャーテル社を買収。遠隔コミュニケーション端末だけでなく、多地点接続ブリッジ、ネットワーク機器、管理用ソフトウェア等、数多くの製品をリリースしています。

発売開始以来ベストセラーとなった音声会議システム SoundStation、テレビ会議システム ViewStation の 2 製品をはじめ、PC 型グループ TV 会議システム iPower やマルチメディア・カンファレンス・サーバーの MGC シリーズ等、端末から端末までのトータルソリューションを顧客に提供できることがポリコムの最大の強みです。

「Polycom Office」と名づけられたこのソリューションは、顧客に対し、通話互換性の問題からの開放、管理の容易性、複数のインフラ、メディア混在のシステム構築等、いままでの端末導入だけでは得られなかったベネフィットを提供します。

1999 年 6 月に設立されたポリコム株式会社はその後急速に、かつ順調に業績を伸ばしています。この業績好調の背景には、いち早くローカライズに取り組んだこと、強力な販売代理店網を形成したこと等、いくつかの要因が考えられます。

今年度は、顧客サービスの強化、代理店サポートの強化、より迅速な新製品の導入を行います。特に顧客サービスの強化は重要な課題です。顧客登録制度や代理店認定制度の導入により、ポリコム株式会社から提供されるサービス、代理店から提供されるサービスの強化を図ります。また、今後はさらに製品ラインの拡充を図るとともに、顧客に対するサービス&サポート力の強化に

取り組んでいきます。

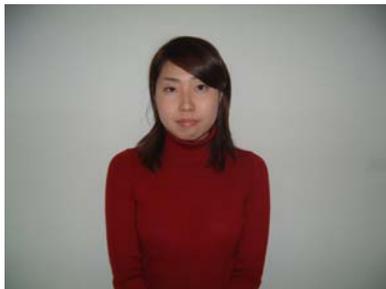
最近ではコンシューマ市場を対象に、ブロードバンドの急速な低価格化が進みました。それに伴いコマーシャル市場にも安価なブロードバンドサービスの提供が始まっています。しかしながら現状は、安価という点にのみ注目が集まっており、ミッションクリティカルなアプリケーションに対応できるシステム構築時に必要な QoS やルーティング、ファイアーウォール超えソリューションの構築等、本当に重要なポイントにはなかなか目が行き届いていません。弊社では IP 化への動きは大歓迎ですが、それと同時に顧客が本当に必要なソリューションやシステム構築のノウハウを、安価という点にだけこだわらず提供していきます。

#### 【連絡先】

ポリコム株式会社  
TEL.03-5421-3636  
<http://www.polycom.com>

#### ■プレミア コンファレンシング株式会社

広報担当 権野 歩氏



弊社、プレミアコンファレンシングは、1984年に米国にて創立し、世界9拠点到営業所を構えるグローバルコミュニケーションプロバイダーです。取引企業は世界で約7

万社になります。

弊社が提供する代表的な電話会議サービスの特長が予約なし電話会議(ReadyConference)です。登録料、月額料金が一切なく、登録時のパスコードを使って24時間いつでも予約無しで会議を始めることができます。完全にバイリンガルでサポートしているため、あらゆるユーザーにご利用いただいています。その他にも様々な会議に対応できる多機能のサービスを提供しております。

弊社の国内の電話会議サービスは、2000年にエクスパダイト株式会社の一事業部としてサービスを開始し、2002年にはプレミアコンファレンシング株式会社を設立、ReadyConferenceに加え、オペレーターアシスト会議(Premiere Call Auditorium)とインターネット会議(ReadyCast)のリリースを行いました。幅広い会議ソリューションを提供する会議プロバイダーとして、著しい成長を遂げています。

今後は、2003年5月頃にPremiere Call Auditoriumの日本ブリッジでのサービス開始を予定し、決算発表会などの大規模会議

の利用ニーズに応えます。また、音声とWebとのコラボレーションを強化する新たなデータ会議サービスのリリースも予定しています。

近年の日本経済不況やテロの影響で経費削減やタイムマネジメントの一貫として、急速に日本で電話会議市場が成長していると捉えています。外資系企業に加えて今後は日本企業への開拓に着目していきたいと考えております。

#### 【連絡先】

プレミアコンファレンシング株式会社 広報担当  
TEL: 03-4560-9610  
<http://www.premconf.co.jp>

#### ■ VTV ジャパン株式会社

代表取締役 栢野 正典氏



(2002年度 TANDBERG ベストパートナー賞授賞式)

写真左が栢野氏

VTV ジャパンは、平成7年に設立され、今年で9年目を迎えます。当初、販売と貸 TV 会議室運営を主業務としておりましたが、お客様のニーズに答える形でレンタル、接続サービスの業務をスタートさせ。現在では、テレビ会議を必要としているお客様のあらゆるニーズに答えることを目標に、システムインテグレート、TV 会議室レンタル、システムレンタル、メンテサービスを4本柱として、ビジネスを営んでおります。その間、市場の成長、製品の進歩を見つめつつ、その変化とともに歩んできましたが、今年はいよいよ第三幕が切って落とされた感を強めております。

PictureTel、CLI といった業界の礎を担った、今はなきメーカーの活躍した第一幕。FORTUNE50、100 といったグローバル企業がメインターゲットとされ、大型で価格も高価であった、ルーム型コーデックの全盛期。

その後、テレビ会議を手軽なものとするべく一気にダウンサイジングが進められ、結果としてユーザー層を広げることに成功した

第二幕。SwiftSite によって新たなカテゴリーとして認知され、更に POLYCOM ViewStation によってユーザーを増やしていった、セツトトップタイプの全盛期。

そして、ここ数年のブロードバンド化による第三幕の幕開け。弊社にて、導入検討をいただいているお客様も昨年は、一般的にはブロードバンドの到来と言われていたにも関わらず、実際には 6 対 4 の割合で ISDN でのお客様の方が多かったのが、今年は一気に 2 対 8 で IP でのお客様の方が増えています。

それに伴い、テレビ会議システムを提案する側のスキルがよりシビアに求められていることを痛感しています。弊社でもよりネットワークにマッチしたシステムのインテグレートをもっとに日々ノウハウの習得に努めています。IP ネットワークと大括りに言っても、専用線からインターネットまで「品質、コスト、安定性」のレベルはネットワークによって様々。

今後、セキュリティや社外との相互接続を考えると、どのような形態で発展していくのか。導入されたお客様が、テレビ会議のポテンシャルをフルに引き出せるよう、動向を常にチェックし、お客様への提案に盛り込んでいきたいと考えています。

【連絡先】

VTV ジャパン株式会社  
TEL 03-5573-4043  
<http://www.vtv.co.jp>

イベント情報

国内

■ビジネスショー TOKYO 2003

日時: 2003 年 5 月 20 日(火)~23 日(金)  
会場: 東京ビックサイト  
主催: 社団法人日本経営協会・東京商工会議所  
\* 「ビジュアルコミュニケーションコーナー」でのテレビ会議展示などあり。  
詳細: <http://bs.noma.or.jp/>

海外

■ Centra Summit  
Fourth Annual Worldwide User Conference

日時: 2003 年 5 月 12 日(月)~15 日(木)  
会場: アメリカ ポストン コプレー・ブレイス・ホテル  
主催: セントラ社  
\* Web 会議ソリューションの Centra が開催するユーザー・カンファレンス  
詳細: <http://www.centra.com/events/uconf.asp>

■ RADVISION Video Telephony Event- Milan 2003

日時: 2003 年 5 月 28 日(水)~29 日(木)  
会場: イタリア・ミラノ

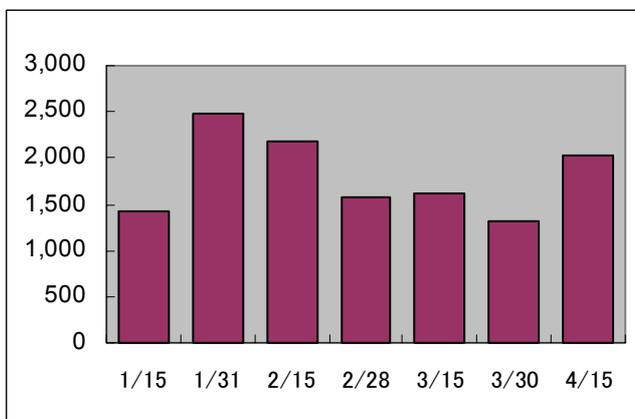
主催: ラドビジョン社

\* IP テレビ電話サービスを開始したイタリアの FASTWEB 社のサービス概要、デモ、同社訪問見学、ラドビジョン社 CEO,CTO などの講演  
詳細: +972-3-7679500 email [EventsInt@radvision.com](mailto:EventsInt@radvision.com)

■ InfoComm 2003

日時: 2003 年 5 月 31 日(日)~6 日(金)  
会場: アメリカ フロリダ州オーランド  
主催: International Communications Industries Association  
\* 電話会議、テレビ会議関連のセミナーセッションもあり。  
詳細: <http://infocomm03.expoexchange.com/>

各号のダウンロード数(2003 年 4 月 30 日現在)



CNA リポートは PDF で各号をダウンロードして読んで頂いていますが、上記グラフは参考までに各号のダウンロード数を示したものです。ホームページにアーカイブしていることもあってか、メルマなどのシステム登録読者数以上のダウンロード数となっています。ダウンロード数によって読者の興味がわかりますが、まぐまぐやメルマのシステムを利用して配信しているため、読者構成がみえません。数は 1 月 15 日号からの分です。

CNA Report

Conferencing News & Analysis  
Independent & Unbiased Perspective  
Since December, 1999  
By Keisuke Hashimoto

CNA Report 編集長 橋本 啓介 [kay@rr.iii4u.or.jp](mailto:kay@rr.iii4u.or.jp)

[TeleSpan](#) (米) コントリビューティング・エディタ ジャパン

[Videoconferencing Insight](#) (英) 日本担当通信員

<http://www.hkeis.jp>

(CNA Report Vol 5. No.8 2003 年 4 月 30 日号終わり)

次回は、2003 年 5 月 30 日を予定しております。

ご購入ありがとうございます。